

科目名	経営組織論／経営と組織	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	内田 亨		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-32-B-2-430017	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	本講義では、経営学全般や組織論についての基礎理論および現代企業の管理手法等を習得する。また、組織体（含非営利組織）は組織をどのようにマネジメントしているか、基本的なことを理解する。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織論における基本的な知識（組織論の枠組み、組織レベル、組織変革など）を理解することができる（授業態度・授業への参加：30%）。</li> <li>・ 組織論の理論やキーワードを使って、組織体のマネジメントについて、課題抽出・分析・考察ができる（応用試験：65%、期末レポート5%）。</li> </ul>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション（ガイダンス、経営学とは）
第2回	企業・組織の仕組み
第3回	経営理念、企業の社会的責任（CSR）

第4回	人材（人材開発、人材戦略）とは
第5回	組織論の枠組み（組織とは）
第6回	組織論の枠組み（組織とは つづき）
第7回	組織論の枠組み（組織のダイナミクス）
第8回	組織論の枠組み（組織のダイナミクス つづき）
第9回	組織レベル（組織デザイン）
第10回	組織レベル（組織文化）
第11回	経営組織の今日的な課題と研究
第12回	応用試験
第13回	組織変革（危機管理）

第14回	組織変革（人的資源管理）
第15回	組織変革（変革の理論と実際）
第16回	レポート課題

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。前週配布資料の予習
【復習】時間・内容	2時間。資料の不明点を調べて理解する。

成績評価	
評価基準・方法	・ 応用試験（小論文 A 4 両面 1 枚、全て持ち込み不可、設問例「授業で習った理論・キーワード・コンセプトを使用し、組織体を分析せよ。なお、図表を1つ以上書くこと」）：65%、授業への参加：30%、期末レポート：5%
フィードバック方法	第14回、第15回の授業中に応用試験の優秀答案を公表し、説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	参考書：田尾雅夫（2010）『よくわかる組織論（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』ミネルヴァ書房。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用試験は、小論文形式のため普段から文章を書けるようにしておくこと。</li> <li>・授業中に過去の応用試験答案を紹介し、答案の書き方を説明する。</li> <li>・授業中指名し、こたえられなければ授業への参加ポイントを付与されない。</li> </ul>
JABEE	